

2020年12月23日

関係各位

本学における新型コロナウイルス感染者について【第2報】

中部学院大学
学長 古田 善伯
中部学院大学短期大学部
学長 片桐 多恵子

12月17日(木)に本学学生が新型コロナウイルス感染症の「陽性」との判定を受け、その後の経過は下記の通りとなりました。

1. 「陽性」と判定された学生

12月17日(木) 中部学院大学 学生1名「陽性」 [※既報]

12月22日(火) 同上 学生1名「陽性」 (上記学生と同一学科・同一学年)

※中部学院大学短期大学部に該当学生はございません。

※12月17日の陽性者の関係では、上記2名以外の陽性者は確認されておりません。

2. 経過

【新たに「陽性」と判定された学生について】

- ・12月17日(木) 関キャンパスにて対面授業を受講。
*18日以降はキャンパスに登校していません。
- ・12月19日(土) 既に陽性と判定されている本学学生に関連し、PCR検査を受診。
同日夜間より発熱症状あり。
- ・12月22日(火) PCR検査の結果「陽性」と判定
*保健所の指示に基づき療養中。

3. 濃厚接触者の有無

管轄保健所が必要とされる措置を実施しています。

4. 学内対応等

保健所等、関係機関と連携を取り、感染拡大防止のための措置を最大限に講じます。

本学では、「陽性」判定となった関係者の所属学部等の詳細は公表していません。

皆さまにおかれましては、感染した学生・ご家族の人権を尊重し、個人情報保護に関して、十分なご理解とご配慮をお願いいたします。